

作成日：2015年07月08日

改訂日：2023年03月17日

安全データシート（追加情報）

1. 化学品及び会社情報

製品名：日産 エクシレル® SE

会社名：日産化学株式会社

住所：東京都中央区日本橋二丁目5番1号

担当部門：農業化学品事業部企画開発部登録グループ

電話番号：03-4463-8310

FAX番号：03-4463-8331

緊急連絡電話番号：農薬中毒事故時の問合せ先 公益財団法人日本中毒情報センター

中毒110番	一般市民専用電話 (情報提供料：無料)	医療機関専用有料電話 (一件2,000円)
大阪 (365日・24時間対応)	072-727-2499	072-726-9923
つくば(365日・9~21時対応)	029-852-9999	029-851-9999

用途及び使用上の制限：農薬（殺虫剤）、農薬登録内容以外の使用は不可

本製品に関するその他の情報については、次ページ以降の安全データシート（SDS）

「エクシレル(R) SE」（エフエムシー・ケミカルズ株式会社、改訂日：2022年05月06日 版  
2.0）を参照してください。

## エクシレル(R)SE

版 2.0 改訂日 2022.05.06  
整理番号 130000133497 発行日 2018.05.01

この SDS は、日本の法規制及び JIS Z 7253 2019 に準拠して作成されたものであり、日本以外の国の規制を満たすものではありません。

## 1. 化学品及び会社情報

**製品名** : エクシレル(R)SE

**供給者情報**  
会社名 : エフエムシー・ケミカルズ株式会社  
住所 : 東京都千代田区大手町1-1-1  
電話番号 : 03-5208-1010  
FAX 番号 : 03-5208-1012

**緊急連絡先** : 03-5208-1012  
: 漏出、火災、流出、事故の緊急事態については、以下に電話してください。  
045-224-4303 (HAZMAT Emergency Response Center)  
03-5208-1010

**推奨用途及び使用上の制限**  
推奨用途 :  
使用上の制限 : 殺虫剤

**整理番号** : 上記の特定用途以外には製品を使用しないこと。  
: 130000133497

## 2. 危険有害性の要約

## GHS 分類

皮膚感作性 : 区分 1  
水生環境有害性 短期 : 区分 1  
(急性)  
水生環境有害性 長期 : 区分 1  
(慢性)

記載がないものは、分類できない、または、区分に該当しない。

## GHS ラベル要素

絵表示又はシンボル :



## エクシレル(R)SE

版 2.0 改訂日 2022.05.06  
 整理番号 130000133497 発行日 2018.05.01

- 注意喚起語 : 警告
- 危険有害性情報 : アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。  
 長期継続的影響により水生生物に非常に強い毒性。
- 注意書き : 粉じん/ヒューム/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。  
 汚染された作業衣は作業場から出さないこと。  
 保護手袋を着用すること。  
 皮膚に付着した場合：多量の水と石鹼で洗うこと。  
 特別な処置が必要である（このラベルの応急措置の指示を参照）。  
 皮膚刺激または発疹が生じた場合は、医師の診断/手当てを受けること。  
 汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。  
 漏出物を回収すること。  
 内容物/容器は、承認された廃棄物処理設備で処分する。

## 3. 組成、成分情報

化学物質・混合物の区別 : 混合物

## 成分及び含有量

化学名	CAS 番号	含有量	官報公示整理番号
シアントラニリプロール	736994-63-1	10.2 %	8-(1)-3850
その他の成分		89.8 %	

## 4. 応急措置

中毒情報センターまたは医師に問い合わせるときや治療に行くときは、製品の容器またはラベルを持っていくこと。

- 吸入した場合 : 化合物は危険有害であるとは思われないので、特別な措置は必要ではない。  
 吸い込んだ場合、新鮮な空気のところへ移動する。大量に曝露した場合は、医師の手当てを受ける。
- 皮膚に付着した場合 : 直ちに汚染された衣服を脱がせる。皮膚を直ちに多量の水で 15-20 分間洗う。  
 中毒情報センターまたは医師に問合せ、治療のアドバイスを得る。
- 眼に入った場合 : 目を開け水で 15-20 分間ゆっくり穏やかに洗う。コンタクトレンズを着用している場合は5分後に外し、その後も洗浄を続けること。中毒情報センターまたは医師に問合せ、治療のアドバイスを得る。

## エクシレル(R)SE

版 2.0  
整理番号 130000133497改訂日 2022.05.06  
発行日 2018.05.01

飲み込んだ場合	: 中毒情報センターまたは医師に問合せ、治療のアドバイスを得る。飲み込むことが可能ならコップ一杯の水を飲ませる。中毒情報センターまたは医師からの指示を受けないでおう吐を誘引しない。意識不明の人には口から何も与えないこと。
急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状	: 情報なし
応急措置をする者の保護	: 情報なし
医師に対する特別な注意事項	: 情報なし

## 5. 火災時の措置

適切な消火剤	: 水スプレー, 泡, 粉末消火剤, 二酸化炭素 (CO2)
使ってはならない消火剤	: 棒状注水は避ける。(汚染のおそれ)
火災時の特有の危険有害性	: この製品は可燃性ではない。
消火を行う者の保護	: 火災の場合は、自給式呼吸装置を着用する。保護具を使用する。
特有の消火方法	: 情報なし
特有の対策	: (小火災に) 火災が広範囲である場合は、消火水がエリアの汚染を助長させてしまうので、可能であれば燃やし尽くす。水を噴霧して容器/タンクを冷却する。

## 6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置	: 人々を避難させ、区域を完全に換気し、自給式呼吸器を使用する。保護具を使用する。
環境に対する注意事項	: 物質が、下水、水路または低地域へ流入することを防止する。
封じ込め及び浄化の方法及び機材	: おがくず、砂、油除去剤またはその他の吸収材で吸収させる。承認された容器に廃棄する。大量の液体が流出した場合は、すぐにすくい上げるか、吸引機で吸い取る。
補足事項	: 現地の規定に従い、処分する。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

## エクシレル(R)SE

版 2.0  
整理番号 130000133497改訂日 2022.05.06  
発行日 2018.05.01**取扱い**

- 技術的対策 : 休憩前や製品取扱い直後には手を洗う。汚染された衣服は洗浄してから再使用すること。
- 局所排気・全体換気 : 情報なし
- 安全取扱い注意事項 : この製品は可燃性ではない。

**衛生対策**

- : 取扱後および飲食、ガム、タバコの使用前、またはトイレ使用前には、石鹼と水でよく手を洗う。物質が内部に入った場合、衣服/PPE(個人用保護具)を直ちに脱ぐ。十分に洗い、清潔な衣服を着用する。

**保管**

- 安全な保管条件 : 製品は子供やペットが近づけない場所に、元の容器のみに保存する。保存している水、他の農薬、肥料、食料品または飼料を汚染しない。家またはその周辺で使用または保管するものではない。子どもの手の届かない場所におく。

一般的な保管に関するアドバイス: 他の製品との混蔵には、特別の制限はなし。

保管温度: > 0 °C

- 安全な容器包装材料 : 情報なし

**8. ばく露防止及び保護措置****管理パラメータ**

適用される職業曝露限界はなし。

**設備対策**

- : 特に、閉所では十分な換気の確保が必要。

**生物学的限界値**

- : 情報なし

**保護具**

- 呼吸器の保護具 : 適切な許容限界を超えた濃度で、空气中的浮遊物質に暴露される可能性がある場所では、承認されたダストおよびミスト用カートリッジ付呼吸保護具を着用すること。

## エクシレル(R)SE

版 2.0  
整理番号 130000133497

改訂日 2022.05.06  
発行日 2018.05.01

- 手の保護具 : 保護手袋  
取扱後は手をよく洗うこと。
- 眼の保護具 : この物質との接触を避けるため保護用眼鏡を着用する。
- 皮膚及び身体の保護具 : 手袋、前掛け、長靴、カバーオールなどの保護衣を必要に応じて着用すること。
- 保護措置** : 製造者の個人保護具（PPE）のクリーニング／メンテナンスの指示に従うこと。  
もしそのような洗浄に関する指示が存在しない場合、洗剤と湯を使用すること。  
他の洗濯物と分けて個人保護具（PPE）を洗うこと。

## 9. 物理的及び化学的性質

## 外観（物理的状态、形状、色など）

- 物理状態 : 液体
- 色 : 類白色
- 臭い : 軽い フェノール臭
- 臭いの閾値 : 情報なし
- pH : 5.6 (10 g/l)
- 融点／凝固点**
- 融点/範囲 : この混合物に関しては得られていない。
- 沸点、初留点と沸騰範囲**
- 沸点・沸騰範囲 : 97 °C
- 引火点 : 沸点までは引火しない。
- 蒸発速度 : 情報なし
- 燃焼性（固体、気体） : この製品は可燃性ではない。
- 燃焼又は爆発範囲の上限・下限**
- 爆発上限 : 情報なし
- 爆発下限 : 情報なし
- 蒸気圧 : 情報なし
- 蒸気密度 : 情報なし

## エクシレル(R)SE

版 2.0  
整理番号 130000133497

改訂日 2022.05.06  
発行日 2018.05.01

**密度**

相対密度 (比重) : 0.982

**溶解性**

水溶性 : 乳化可能

n-オクタノール/水分配係 : 情報なし

**数****自然発火点**

自然発火温度 : 358 °C

分解温度 : 情報なし

**粘度 (粘性率)**

動粘性率 : 情報なし

粘度 : 454 mPa.s  
50 rpm (回転毎分)

分子量 : 情報なし

**10. 安定性及び反応性**

反応性 : 情報なし

化学的安定性 : 常温及び通常の保存条件下で安定である。

危険有害反応可能性 : 情報なし

避けるべき条件 : 氷結しないように保温する。

混触危険物質 : 特に言及するべき物質は無し。

危険有害な分解生成物 : 情報なし

**11. 有害性情報****急性毒性**

経口

エクシレル(R)SE : LD50/複数種: > 5,000 mg/kg

吸入

## エクシレル(R)SE

版 2.0  
整理番号 130000133497

改訂日 2022.05.06  
発行日 2018.05.01

エクシレル(R)SE	:	LC50/4 h/ラット(粉塵/ミスト): > 2.4 mg/l
経皮		
エクシレル(R)SE	:	LD50/ラット: > 5,000 mg/kg
<b>皮膚腐食性及び皮膚刺激性</b>		
エクシレル(R)SE	:	種: ウサギ 結果: 軽度の皮膚への刺激
<b>眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性</b>		
エクシレル(R)SE	:	種: ウサギ 結果: 中等度の眼への刺激 分類: 刺激性物質には分類されていない。
<b>呼吸器感作性又は皮膚感作性</b>		
エクシレル(R)SE	:	種: モルモット 結果: 皮膚に触れると感作を起すことがある。
<b>生殖細胞変異原性</b>		
シアントラニリプロール	:	細菌及び哺乳類の培養細胞での試験では、変異原性は見られなかった。 この物質は動物の遺伝子を損傷しないことを示唆する証拠がある。
<b>発がん性</b>		
シアントラニリプロール	:	ヒト発がん性としては分類できない。 動物実験では、発がん性の影響は見られなかった。
<b>生殖毒性</b>		
シアントラニリプロール	:	生殖毒性: 生殖毒性なし 動物試験では、生殖毒性は示されなかった。 催奇形性: 母体に有毒となるレベル以上のレベルにおいて、胚-胎児の発生への影響が、動物試験により示された。
<b>特定標的臓器毒性</b>		
特定標的臓器毒性、単回ばく露		
シアントラニリプロール	:	この物質または混合物は、特定標的臓器毒、単回暴露に分類されない。
特定標的臓器毒性、反復ばく露		
エクシレル(R)SE	:	該当する場合、特定標的臓器に関する情報は、急性毒性及び/又は反復投与毒性データを参照すること。



## エクシレル(R) SE

版 2.0 改訂日 2022.05.06  
 整理番号 130000133497 発行日 2018.05.01

**吸引性呼吸器有害性**

シアントラニリプロール : 吸引性呼吸器有害性に分類されない

**その他**

シアントラニリプロール : 反復投与毒性:  
 以下の影響は、表示された使用条件下で予想されたものを著しく超える  
 暴露レベルにおいて起こった。  
 経口/ラット 28 - 90 d  
 甲状腺への影響、臓器の重量変化、神経毒性に影響しない。  
 経皮/ラット 28 d  
 毒性学的に重大な影響は見られなかった。  
 経口/マウス 90 d  
 毒性学的に重大な影響は見られなかった。  
 経口/イヌ 90 d  
 血液中の化学成分の変化、肝臓への影響、動脈炎  
 経口/複数種 28 d  
 免疫系、毒性学的に重大な影響は見られなかった。  
 経口/ラット 14 d  
 毒性学的に重大な影響は見られなかった。  
 経口/イヌ 365 d  
 肝臓への影響、胆嚢への影響、血液中の化学成分の変化、動脈炎  
 吸入/ラット 28 d  
 毒性学的に重大な影響は見られなかった。

**12. 環境影響情報****生態毒性**

魚類に対する急性、延長毒性

シアントラニリプロール : LC50/96 h/Oncorhynchus mykiss (ニジマス): > 12.6 mg/l  
 LC50/96 h/Lepomis macrochirus (ブルーギル サンフィッシュ): > 13 mg/l

水生植物に対する急性毒性

シアントラニリプロール : ErC50/72 h/Pseudokirchneriella subcapitata (緑藻): > 13 mg/l  
 ErC50/7 d/Lemna gibba (duckweed): > 12.1 mg/l

水生無脊椎動物に対する急性毒性

エクシレル(R) SE : EC50/48 h/Daphnia magna (オオミジンコ): 0.232 mg/l

## エクシレル(R)SE

版 2.0 改訂日 2022.05.06  
整理番号 130000133497 発行日 2018.05.01

## 水生無脊椎動物に対する慢性毒性

シアントラニリプロール : 無影響濃度/21 d/Daphnia magna (オオミジンコ): 0.00656 mg/l

## 残留性・分解性

情報なし

## 生体蓄積性

情報なし

## 土壤中の移動性

情報なし

## 他の有害影響

エクシレル(R)SE : 環境への危険有害性： 直接水に使用しない。 漂流および流出物は、取り扱い領域に隣接した水中の水生生物に危険有害である可能性がある。ミツバチに対して有毒である。 蜂が処理地域に飛来する場合は、この製品を使用しないこと。 環境の予防措置に関する、取り扱いの追加説明は製品ラベルを参照する。

## 13. 廃棄上の注意

- 廃棄の適用法令** : 廃棄物の処理及び清掃に関する法律(施行令第6条)に従って廃棄する。 処理を委託する場合は、所轄の地方自治体の許可を得た一般（或いは、特別管理）産業廃棄物業者と契約を結んだ上、処理を委託する。
- 残余廃棄物** : 国及び地方自治体による規制に従う。 この製品が、排水や水路、地面に流れ込まないように留意する。
- 汚染容器・包装** : 空き容器を廃棄処理する場合は、内容物を完全に除去し、廃棄物の処理及び清掃に関する法律(施行令第6条)に従って廃棄する。  
空の容器を再使用しない。

## 14. 輸送上の注意

## 国際規制

## IMDG

- 国連番号 : 3082  
正式の国連輸送名 : ENVIRONMENTALLY HAZARDOUS SUBSTANCE, LIQUID, N.O.S.  
(Cyantraniliprole)  
輸送危険物クラス : 9

## エクシレル(R)SE

版 2.0  
整理番号 130000133497

改訂日 2022.05.06  
発行日 2018.05.01

包装等級 (PG)	: III
海洋汚染物質	: 該当 (Cyantraniliprole)
<b>IATA</b>	
国連番号	: 3082
正式の国連輸送名	: ENVIRONMENTALLY HAZARDOUS SUBSTANCE, LIQUID, N.O.S. (Cyantraniliprole)
輸送危険物クラス	: 9
包装等級 (PG)	: III
国内規制	: 航空法 船舶安全法
追加の規制	: 適用なし
使用者が構内若しくは構外 の輸送又は輸送手段に関連 して、知る必要がある又は 従う必要がある特別の安全 対策	: 適用なし
応急措置指針番号	: 171

## 15. 適用法令

シアントラニリプロール：(2023年4月1日以降、化管法第2種指定化学物質、管理810)  
毒劇法、安衛法による SDS 提供義務の対象ではない。

航空法	航空法, その他の有害物
船舶安全法	船舶安全法, 有害性物質
農薬取締法：殺虫剤	

## 16. その他の情報

## 参考文献

SDS 番号: 130000133497

## 中毒の緊急問い合わせ先

公益財団法人 日本中毒情報センター 中毒110番

大阪中毒 110 番: (一般向け) 072-727-2499, 24時間対応, (医療機関専用有料電話) 072-726-9923, 9~21時対応

つくば中毒 110 番: (一般向け) 029-852-9999, 24時間対応, (医療機関専用有料電話) 029-851-9999, 9~21時対応

## 改訂日/版

初回発行日 : 2018.05.01

## エクシレル(R)SE

版 2.0  
整理番号 130000133497

改訂日 2022.05.06  
発行日 2018.05.01

改訂日 : 2022.05.06  
版 : 2.0

記載内容は、現時点で入手できる資料、情報にもとづき、当該製品の取り扱い、使用、処理、保管、輸送、廃棄、漏洩時の処理等を、安全に行っていただくために作成されたものです。上記の情報はいかなる保証をするものでもありませんし、品質を特定するものでもありません。また、この SDS のデータはここで指定された物質についてのみのものであり、別な物質へ変化させたり、処理したり、あるいは指定されていない工程での使用や、指定されていない材料との組み合わせには有効ではありません。

